

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(女) 1 回戦

試合日：2014/08/02
開始時刻：9:30~
会場：秀明八千代高校
コート：Jコート
試合順：第1試合(女) 1 回戦

Team A					Team B				
和歌山信愛					県立津幡				
(和歌山県)					(石川県)				
46					62				
13 - 15 4 - 9 14 - 18 15 - 20									

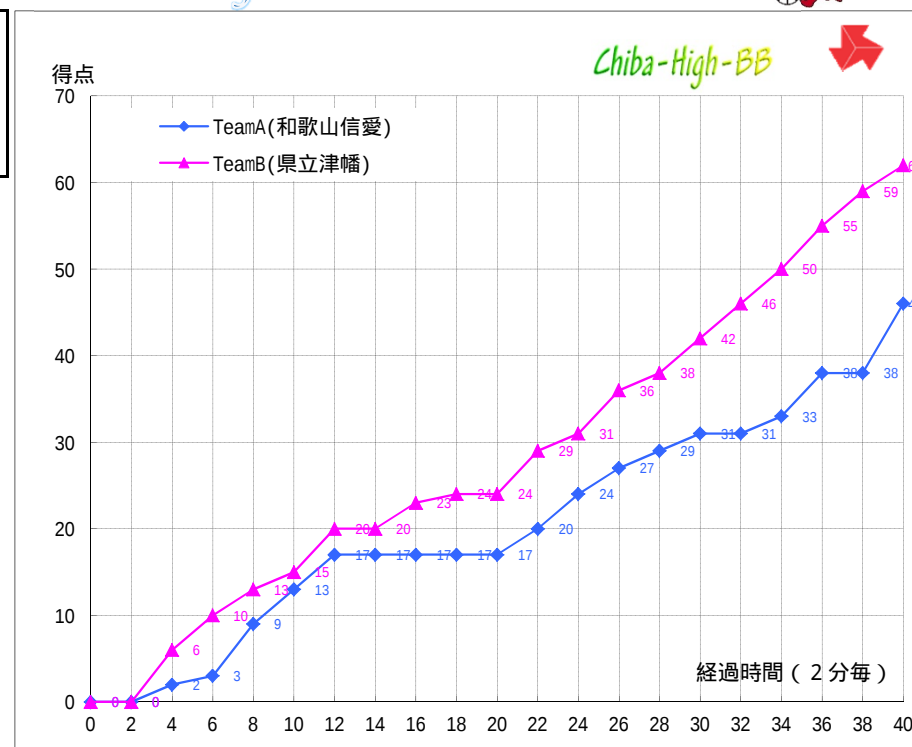
TeamA(和歌山信愛)

№	PT	選 手 名	得点	3ポ゛ント	2ポ゛ント	フリース	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4		辻川 光希	14	1	5	1	2	3	5	8	1	3	4
5	○	小森 瑠香	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
6		古金谷 郁美	0	0	0	0	3	0	4	4	0	0	1
7	○	藤 朋美	2	0	1	0	2	2	2	4	0	0	3
8		小松 由理子	10	0	4	2	3	2	1	3	0	0	1
9	○	上野 麻矢	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
10		和田 きらり	5	1	1	0	1	0	2	2	0	0	2
11	○	野村 美空	2	0	1	0	1	3	1	4	0	1	0
12	○	向中野 樹里	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
13		唐澤 美空	13	1	5	0	1	1	4	5	1	1	2
14	○	成田 めぐみ	0	0	0	0	1	2	3	5	0	0	0
15	-	渡邊 ほのか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	3	4	7			2
合 計			46	3	17	3	17	16	26	42	2	5	14

TeamB(県立津幡)

№	PT	選 手 名	得点	3rd イント	2nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4		熊谷 早紀	5	1	1	0	3	0	3	3	0	0	2
5		池前 優架	32	0	12	8	1	4	8	12	0	2	1
6		小西 里奈	1	0	0	1	0	1	5	6	0	0	1
7	○	川越 秋花	6	0	3	0	1	1	0	1	0	0	1
8	○	安達 歩美	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
9	○	茶橋 涼夏	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10	○	山下 裕子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	○	西 菜緒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12		小倉 ひかる	12	3	1	1	1	2	7	9	0	0	1
13	○	河西 美砂絵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	○	小池 碧衣	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
15		佐藤 千裕	4	1	0	1	4	1	1	2	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	3	5			0
合 計			62	5	17	13	11	12	28	40	0	2	9

InterHighSchool 2014 in Chiba 02J1



タイムアウト

	前半(1・2P リバウンド)		後半(3・4P リバウンド)			延1	延2	延3	延4
TeamA	15:22	19:39	32:18	37:03	38:13				
TeamB	-:-	-:-	26:36	38:38	-:-				

【戦評】

両チーム、ハーフコートマンツーマンディフェンスで試合開始。互いに厳しいディフェンスで序盤は得点を許さない。試合が動き出したのは試合開始3分。県立津幡#12小倉の3pをきっかけに県立津幡のパッシングやカットインを中心としたオフェンスが機能し始める。対する和歌山信愛も#4辻川のドライブシュートや#8小松のポストプレーやリバウンドからの粘り強いオフェンスで対抗する。第2Pも一進一退の攻防が続くが、堅守県立津幡が7点リードして前半終了。第3P、和歌山信愛は#8小松、#11野村のセンタープレーヤーにボールを集め、流れを変えようとするが、すかさず県立津幡ベンチがタイムアウトで流れを切る。その後、落ち着きを取り戻した県立津幡が再び猛威を振るう。この試合、何と言っても県立津幡#5池前が32得点の活躍で攻守にわたってゲームを支配していた。和歌山信愛は最後まで#5池前を中心とした県立津幡オフェンスをとめることが出来ず、終わってみれば県立津幡がメンバー全員出場で勝利を収めた。

審判	三村 力丸 / 仲地 祥吾 /	戦評	嶋村 拓也
----	-----------------	----	-------

TO 千葉県高体連バスケットボール専門部 第8・第9地区所属高校バスケットボール部
コトハル 千葉県高体連バスケットボール専門部 第 地区所属バスケットボール部
SS 千葉県高体連バスケットボール専門部 第11・12地区所属高校バスケットボール部

千葉県高体連バスケットボール専門部